

だての郷通信



あぶくま福祉会

# ひびき 令和4年1月号

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 生活介護事業所 **だての郷**

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL024-576-7799 FAX024-576-7815

## 1月の主な行事

- 1月 4日(火) 仕事始め
- 7日(金) 新年を祝う会
- 8日(土) 土曜利用日
- 11日(火)～14日(金) ミニドライブ週間
- 14日(金) 報奨金支給
- 17日(月) ジュース購入日
- 26日(水) 誕生会

## 1月生まれの皆さん

**お誕生月おめでとうございます**

岡崎雄一さん

誕生月おめでとうございます！

1月26日(水)に誕生会を行います。  
お楽しみに。

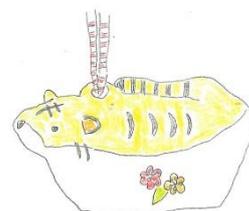
# 謹賀新年

寅



本年もどうぞよろしくお祈いします  
令和4年 元旦

だての郷 利用者・職員一同



理事長  
年頭ごあいさつ 2022年 新年のごあいさつ



利用者さんのための  
施設を目指して



社会福祉法人あぶくま福祉会  
理事長 吉田 修次郎

だての郷利用者の皆さん、保護者の皆さん、地域の皆さん、あけましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのこととお喜びいたします。

皆さんにとって2022年の寅年が、素晴らしい一年間となりますようお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が拡大してから約2年、ワクチン接種も大分進行し年末には感染者が減少しました。しかし今後、ワクチンの抗体の低下によるブレイクスルー感染や新たな変異株オミクロンの感染拡大等が新たな心配の種となっております。幸い、私たちの法人施設からは感染者を出すことなく過ごせております事、利用者・保護者・職員等関係者の皆さんのお陰であると感謝申し上げます。今後も感染予防を徹底して施設運営をしてまいりたいと思っております。ご家庭においても手洗い消毒等基本的な感染予防をよろしくお願い申し上げます。

さて、コロナ禍の中で令和3年の施設運営は、あぶくま祭りや旅行を始め各種事業が中止や形を変えての実施となりました。

その中でも昨年は長年の課題の一つでありました利用者の送迎をバス送迎からワゴン車送迎（西回りのみ）へと切り替える事が出来、送迎の負担の軽減が図られたものと考えております。今年は完全実施に向けて取り組む必要があります。

施設整備面では、社会福祉充実計画が最終年となり花卉園芸のハウス建設が土地の造成まで終り、ハウス建設に入ったところであります。今年度末の完成を目指して工事が進められるものと思っております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

更には、相談支援事業所も4月に開設することが出来ました。

施設は常に「利用者のための施設である。」ことを念頭におき、施設での生活が楽しく充実したものとなるよう、生活や作業しやすい環境作りにこれからも職員とともに努力してまいりたいと思っております。一日も早くコロナが収束し利用者の皆さんが日常の活動が楽しく出来るようになると良いと思っております。

保護者の皆様には何かとご支援ご協力をお願いすることが多々あると思っておりますが、ご理解を頂きますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

## 新年のごあいさつ



だての郷保護者会  
会長 谷津 絹子

謹んで新春のお祝いを申し上げます。皆様方におかれましては、今年のお正月もご家族共々楽しくお過ごしのことと存じます。

今年は「壬寅（みずのえ・とら）」で、「陽気をはらみ、春の胎動を助く」冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年、新しく成果の礎になる年になるようです。また、36年に一度の周期で巡ってくる「五黄の寅」の年にあたるそうです。

昨年は、念願であった個別送迎を西回りのバスに乗っていた利用者さんを中心に行われました。昨年の役員会で保護者の皆様にお話を聞き、利用者の方々がどんなに喜んでいけるかがわかり、早朝から出勤してくださる職員の方々とともに、シルバー人材センターの方々にも深く感謝申し上げます。職員の方々はもちろんですが、シルバー人材センターの方々も利用者のことを理解して、優しく言葉かけをしてくださる様子を見て、とても嬉しく思います。まだ個別送迎は一部の方々だけなので、早急に希望している方々全員の個別送迎が行われることを切に願っています。

中国の格言に「10年偉大なり。20年畏るべし。30年にして歴史になる。50年神の如し。」というものがあります。この格言は継続の大切さを教えたものです。だての郷も今年の4月で26年目に入ります。職員の皆様には、施設の基本理念に基づき、常に利用者の観点に立ち、人権を尊重して、毎日が豊かで生き生きとした生活が送られるよう支援していただいていることに感謝申し上げます。そして引き続き、職員の皆様には同じ目線で利用者の方々に寄り添い、開かれた施設であってほしいと思います。

昨年の保護者会活動は、清掃奉仕活動以外は全員が集まる行事は行われませんでした。コロナも変異を繰り返していて、先の見通しが立ちません。状況を見ながら、コロナ対策をして今年は少しずつでも前に進んでいきたいと思います。親の役割として利用者のためにやるべきことはたくさんあると思います。保護者も皆さんの意見を聞きながら、保護者会活動を進めていきたいと思いますので、会員の皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

また、この機会ですので、町内会の皆様には日頃より子供たちに対し、ご理解ご協力をいただいておりますこと御礼申し上げます。

結びに、本年も皆様のご健勝でご多幸でありますよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

## 新年のごあいさつ

～課題を解決し充実した一年に～



だての郷  
施設長 中木 雅彦

新年あけましておめでとうございます。だての郷利用者の皆様をはじめ、同保護者会、地域の皆様にとって、輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて昨年は、ワクチン接種の効果もあり新型コロナウイルス感染症の感染者数の減少が見られましたが、新たな変異株の脅威もあり、コロナに対応した生活様式が続き、この生活が普通になってしまった一年になりました。皆様も同様だったことと思います。したがって、法人・各施設の行事も昨年に引き続き中止にせざるを得ませんでした。そのような状況下、明るい話題として、新しい拠点「相談支援事業所よつば」が4月にスタート、8月には利用者さんのコロナワクチン集団接種を施設で行ったことと社会福祉充実計画事業が工事開始となったこと、9月にこれまで喫緊の重要課題であった「個別送迎」について西回りバス利用者さんを対象に実施できたことなどが挙げられます。そして何よりもあぶくま福祉会関係者から新型コロナ感染陽性者の発生がなかったこと、これが一番良かったことであり、これからはずっとそうあり続けていきたいと思っています。

さて、今年の干支は「壬寅」（みずのえとら）です。「壬」は、厳冬、沈滞を表し、「寅」は「動く」の意味があり、春が来て草木が生きる状態を表しており、二文字を合わせると、令和4年は冬が厳しいが過ぎ春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生れる年になるといわれています。

寅年にちなんでだての郷の今年の目標を述べると、厳しいコロナ禍を今年も我慢し、春の芽吹きとともに利用者さん一人ひとりが生き生きと施設を利用し、日々楽しく過

ごしていただけるよう支援していきたいと思っています。新年度に向けて個別送迎の範囲拡大と、利用者さんへの支援の更なる向上を目標に、職員一丸となって取り組んでまいります。

新しい年を迎え、利用者さんはじめ、保護者の皆さんや施設職員の皆さん、地域の皆さんとのコミュニケーションを大事にして、多くの方がたから親しまれるだての郷にしていくことをお誓いします。

結びに、令和4年が皆様にとって良い年になりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつとします。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

## 笑顔でレクスポーツ楽しむ

## にこにこ フェスティバル



ボウリングが一番人気でした



フライングディスクは大きな輪の中にディスクを通す競技をしました



ラダーゲッターはひも付きボールを桁にひっかけるゲームです みんな真剣！



おやつタイム 美味しいお菓子をいただきました

今後も「にこフェス」  
開催予定です！お楽しみに

**編集後記** 明けましておめでとうございます。だての郷通信ひびき1月号、今年も1ページ目は年賀状風にしてみました。イラストは、ほどはら授産所の岩崎真由美さんに描いていただきました。ありがとうございました。▼理事長、保護者会長さんには、年頭のごあいさつをいただきました。御礼申し上げます。利用者さんが毎日通いたくなる施設を目指し、利用して満足感が得られるよう努めていきたいと思っています。▼新型コロナウイルス感染症は新たなオミクロン株の出現で感染者数が微増しています。皆さんには引き続き感染予防の手洗いうがい・マスク着用・三密回避で、身を守るようにしてください。▼真冬の季節になりました。お体ご自愛のうえ、いいお正月をお過ごしください。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。(M)